

戦争を許さない女たちのJR連絡会



©HIRUTA

今年も宜しくお願いします

いのち輝く

わたしのピーストレイン

〒141 0031 東京都品川区西五反田3 2 13 JR総連内 ☎ 03 3491 7191 JR 057 4596

平和を願って、いま私たちにできること

パキスタン在住30年 督永忠子さんに聞く

「テロとの戦い」で平和は来ない

9.11以降、パキスタンとアフガンの国境沿いでは1万人以上が亡くなったと言われています。亡くなった人の後ろには10万人の家族。そして親戚一族郎党あわせると100万人もの人が死を悲しみ、アメリカなどに対し恨みを持ち続け、武装勢力として育っていきます。日本政府は欧米の尻馬に乗ってテロとの闘いの片棒を担っていますが、それでは平和はやって来ません。自衛隊のアラビア海での給油、それがどう使われているのかの検証もされていません(現地では横流しされている噂もあります)から、給油には反対したいし、今後のオバマの動きにも傾注したいと思います。

学び・成長する女性たち

ギルギットには子ども平和基金やJR総連の皆さんのご支援で、立派な母子保健センターが完成しました。計画から34年もかかりましたが、ここで刺繍、縫製、編み物、識字を中心に無料で教室等を開いています。イスラーム原理主義者たちは女性に教育は要らない、女性は外出してはいけないと言います。しかし、一字も読めなかった女性が、読み書きができるようになり、縫製教室の先生になる人もいます。働いたお金を子どもの教育にまわすことが出来ます。自分が僅かでも稼げることで、女性たちは生き方、考え方が変わったと言います。

栄養指導と料理教室というのが私の担当です。燃

料使用を減らし、食用油を大量に使用しない、健康に留意するケチケチ料理を教えています。女性たちには今までそうした発想がありませんでした。異なった価値観に触れることも大切だと思います。

女性が賢くなければ良い子どもは育ちません。神の教えに忠実に生きられ、明日の食料を心配することがなければ、子どもたちが武装勢力になることも



ないでしょう。

女性たちが暮らしの中で成長を遂げ、自立しながら夢を持って輝いて生きていくことこそが平和への歩みではないでしょうか。

あなたにもできる支援・ できることから

コーヒー2杯分のお金で、通学してくる女性たちの交通費(1か月分)が賄えます。コーヒー1杯分で縫製教室では練習用の布が3m買えます。先生たちの給料は平均8000円。普段なにげなくの喫煙や飲酒代、冷暖房費の節約が支援に繋がって行きます。

支援活動は出来る者が出来る時にするのが大前提。長続きのする支援活動のためには、命や生活をかけてまでするものではないと私自身は考えています。スポーツやドライブの延長のような軽い気持ちで、皆さんにも支援活動に参加して頂けるように念じています。

NWA(日パ・ウエルフェア・アソシエーション)会員募集中。ホームページをご覧ください。

この記事は原稿を要約したものです。全文は「戦争を許さない女たちのJR連絡会」のホームページをご覧ください。(編集部)



©HIRUTA

イスラエル軍によるガザ攻撃、大虐殺に抗議します

JR浦和電車区事件「控訴審勝利を勝ち取ろう！」

「JR浦和電車区事件」控訴審始まる

JR浦和電車区事件から丸6年がすぎ、昨年12月21日から控訴審が始まりました。私たちはさらに広く社会に訴え、一人でも多くの人に真実を伝えていかなければなりません。勝利を手にすることができるかどうか、今年こそ正念場です。第一審不当判決を覆し、完全無罪・職場復帰を勝ち取るため、美世志会とともに、そして蒲郡駅事件の加藤さんとともに、えん罪をなくす闘いを掲げていきましょう。同時に、私たちの課題は、平和・人権・民主主義を根付かせ、実現することです。志を同じくする人々との連帯の輪を広げるために奮闘していきましょう！



不当判決を覆し控訴審に勝利する11.1大集会



9条フェスタで作成した横断幕を掲げてデモ行進(11.1)

9条フェスタ2008

「えん罪をなくそう」と訴えました！

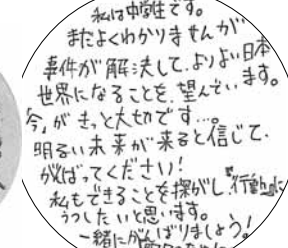
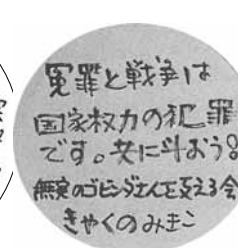
08年10月18日、第4回目の「9条フェスタ」が開催されました。「憲法9条を守ろう」という人たちが創るこの平和の祭典に85団体2800人が参加し、大盛況となりました。

会場となった大井町「きゅりあん」では、各階ごとに様々な平和の催しが繰り広げられました。



170人余りの方からメッセージをいただきました

女たちのブースは今年も7階のイベントホールで、JR浦和電車区事件・蒲郡駅事件について、現状を訴えました。特に、JR浦和電車区事件から6年となる「11.1集会」に向けて横断幕を作成するため、「えん罪をなくそう」と書いた大きな紙を貼り、多くの皆さんから色紙にあたたかいメッセージを寄せていただきました。ご協力ありがとうございました。



*** 9条フェスタに参加して感じたこと ***

* 7人の似顔絵がそっくり!? (青空の会 M.T)

7人の似顔絵の似ていること、特に大潤さんの絵はびっくり。通りかかる人たちに声をかけ、メッセージをもらいました。若い人も、年配の方も快く協力してくれました。

「語り継ぐ加害の事実」のコーナーへ行きました。自分達が中国で行ったこと(殺し、略奪)を報告する様子には、いまもなお、その悪夢から解放されず、二度と自分たちのような者をつくってはいけないという意志でお話されていました。『蟻の兵隊』に出た奥村さんは、映画の通りのとても品のある志の高い方でした。

* 戦争はしてはいけないと改めて感じた (青空の会 H.T)

私は「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」の体験談を聞かせて頂きましたが、80歳をすぎた高齢の方が、中国で自分たちの行った行為に対し淡々とお話しになり、いかに戦争が普通の人間を変えてしまうか、どんなにひどい事も感覚がなくなってしまうというお話を聞き本当に恐ろしくなっていました。人間が人間であり続けるために、ぜったいに戦争はしてはいけないとあらためて思いました。



第9回日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議に参加して



11月23日～25日、第9回日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議が東京・韓国YMCAで開催されました。「女たちの会」も実行委員会の一員として準備などのお手伝いをしました。23日の非公開の「アジア連帯会議」では、韓国・台湾・中国・東チモール及び在日の被害者11名が紹介され、「慰安婦」問題に対する国会決議を採決した米国、オランダ、カナダ、EU、韓国、台湾の議員や支援団体による報告がありました。

24日の公開集会では、立ち見が出るほどの来場者の中、被害者の証言集会、ミュージカル、シンポジウムなど様々なプログラムが行われました。

証言では、被害者の生の声を聞くことができました。日本の侵略戦争、植民地支配がいかにひどいものであったのか、あらためて学び、心に感じました。また、フィリピンの「慰安婦」被害者をモデルにした市民参加のミュージカルは、被害者の屈辱と長く苦しい闘いがひしひしと伝わってくるも



のでした。

反省も謝罪もないままの日本政府に、各国から非難が集中し、謝罪と補償が求められています。その国際的な声の高まりが、今回の会議の背景にありました。決議では、日本軍の性奴隷化の事実を認め謝罪すること、謝罪と賠償実現のための法的制度を整えること、教科書に正しい記述を掲載すること、などを日本政府に求めました。

日本軍「慰安婦」とされ犠牲になった方々は、高齢になり心身共に癒されないまま、次々に亡くなっていく状態です。したがって、私たちがこの問題にしっかりと向き合っていかなければ「慰安婦」問題の解決はなく、

この日本も変わらないという共通認識が会議の方向を示していたと思います。

最終日の25日は、午前中に国会要請行動、午後1時から被害者とともに国会前でスタンディングデモ、参議院会館での院内集会が行われました。

最終日の25日は、午前中に国会要請行動、午後1時から被害者とともに国会前でスタンディングデモ、参議院会館での院内集会が行われました。

韓国・挺対協主催の日本軍「慰安婦」問題シンポジウム



エンジェル「絵本の読み聞かせ」



* 直接見て感じる事が大事！（システム労 〇）
展示物や物品販売、参加者に至るまで、9条フェスタは年々多彩になっているような気がしました。沖縄そばがすごく美味しかったです!!

また、女性のための整体の本を購入し、さっそく家で実践しています。秋冬は鍋やスープなどで水分をたくさん摂取すると風邪を引きにくいそうですよ。今回、初めて慰安婦問題のシンポジウムに参加しました。直接お話を聞いて感じる事、自分の頭で考える事はとても大事だと思います。おばあさんのこれまでの人生を思うととても悲しく、涙が出ました。そして、誰にぶつければよいのか分からない怒りを感じました。

* 心に残る絵本の読み聞かせ (聚楽労組 M・S)

エンジェルの絵本の読み聞かせに行ってきました。大変なご苦労だったと思います。自然に絵本の世界へ入っていく事が出来ました。子ども達だけでなく大人にも伝えたい絵本ばかりでした。エンジェルの取り組みは素晴らしいと思っています。次はどんな絵本を聞かせてくれるのか、今から楽しみです。



* 完全無罪を勝ち取る勇気もらいました (聚楽労組 N・S)

女たちのブースを最後に担当しましたが、私たちが行ったときにはメッセージカードが足りない状態でとても嬉しく思いました。皆さんの心が一つになった気がします。ぜったい完全無罪を勝ち取る勇気もらった気がします

シンポジウム会場でも、最後に当会の玉盛代表が対協代表のユンミヒャンさんに、「戦争と女性人権博物館」建設のためのカンパを手渡しました。



「えん罪列島」
山形マツト死事件、北陵クリニック事件、浦電事件、袴田事件、東電O1事件、その他多くのえん罪事件を取り上げ、支援者や本人から訴えがありました。

祝・ななかまど15周年

心豊かにつながりあおう

08年11月15日、札幌で「第15回ななかまどのつどい」が開催され、全道から67名の仲間が集いました。当会の淵上前代表、元本部書記さんや貨物労組「青空の会」の仲間、地域の9条連で関わった方の参加など、15周年を祝うにふさわしい和やかで元気溢れるつどいとなりました。

柏谷代表から、15回を重ねたことへの感謝が述べられ、JR北海道労組本部佐々木委員長から「日の丸・君が代」の強制、田母神前空幕長発言など過去の戦争の過ちを繰り返すような危険な動きが触れられ、つどいが20回30回と開催されるようにと激励のご挨拶をいただきました。

講演には2回目の登場になる作家・エッセイストの朴慶南さんをお迎えしました。講演タイトルは、ご自身の本のタイトルにもなっている『私以上でも、私以下でもない私』。親しい友人のうえに起こったエピソード、自らの体験を取り混ぜながら、相手を受け入れること、思いを馳せること、知恵を持つことで平和のこころはこうして育まれ、守られるというものでした。そして、過去の日本と韓国・朝鮮の不幸な関係についても、関東大震災の際、朝鮮人を救った日本の警察署長の話や元従軍慰安婦だった方の「日本の兵隊さんも可哀想、戦争が悪い」という話など、まさに13日発売になったばかりの『サラム(人)とサラン(愛) 思いはつながる』に託して話されました。参加したみんなは話に目をウルウルさ

せながら、親子のこと、夫婦のこと、そして友人や職場の人間関係に置き換えながら聞き入り、元気をもらいました。声をからして、全身から溢れるパワフルな講演は、「私たちが見上げるときは空

でいい。見下ろすときは大地でいい。横を見ればあなたがいて仲間がいて、みんな共に並びつながりあっている」という、キョンナムさんが私たちに一番伝えたかった言葉で締めくくりました。

第二部は、初めてななかまどのつどいで行う交流会でした。安心・安全な食材でつくり、体に優しく、こころを豊かにしてくれるもう一方の平和の意味をもつ「マクロビオティック・スイーツ」を口に運びながら、ななかまどの会への思いや講演の感想などを出し合うひとときを過ごしました。

またこの日、参加者全員による「JR浦和電車区事件」美世志会と「蒲郡駅事件」JR東海労・加藤さんへ贈る「えん罪を許さない」「職場復帰を勝ちとろう」と共に闘う激励色紙を作成しました。

15回への道のりは決して平坦ではありませんでしたが、内外の人達に本当に助けられた感謝を忘れずに、これからも平和への思いをしっかりと繋いでいきたいと決意を新たにしました。



「三浦和義 敗れざる者たち」

ライブトークショーのゲスト8名の話が収録されています。多くのバッシングを受けたことから、「うしろ指差され組の記録」と銘打って、冤罪事件の被害者をはじめ三浦さんが生前支援してきた様々な方々が語っています。第一回目ではゲスト



の鈴木邦夫さんとともに美世志会・大潤さんも参加し「JR浦和電車区事件」が公安によって作られた事件であることをしっかりと発言しています。この本が三浦さんの最後の本になってしまったことが残念でなりません。

三浦和義・河村シゲル著

ぶんか社・1500円

「サラムとサラン」

命の大切さ、人はどう生きるのか、キョンナムさんの高い高いアンテナに吸い込まれてきたいい話・いい人がギュッと詰まった著者5年ぶりの本です。

人の命は悠久の歴史の中でほんのわずか、でも生きていてよかったと思えることを明日がある限り探していこう、そんなことを改めて考えさせられることが満載。人の遺伝子まで解明され生まれることも選別されかねない現代、でも、生まれてきた命、生きている命のすべてが愛おしいと感じます。



朴慶南著 岩波書店・1785円

本の紹介